

了職辭せる者概軍人二員也會員係三十餘名皆業丁工農内代を醫
 間の對する平常の對し式收會振り及び職工並人夫附録答を以
 會長及び業員四名を直に對し一たび會振附の懸念附置が一和
 急振り及び警官三十餘名を直に對し其の首領答を自らへ業田後變
 業員の懸念及び及びる故書等附置せし其の懸念亦亦醫藥醫以
 正 四大麻日並に工農附念日及び附置附一人を須圖収支録せる
 四 一書懸置せること
 四 職工日應三ヶ月以上及び及び答に懸置附置附置第二章第十三款
 一 懸置附置の懸置附置附置の
 二 二回の或懸置附置附置附置附置附置附置附置附置附置附置
 三 下卒未下卒を問附置附置附置附置附置附置附置附置附置附置
 四 下卒未下卒を問附置附置附置附置附置附置附置附置附置附置

法人附置會福岡出張所

法人附置會福岡出張所

戒し、且つ主謀者十二名（職工二名、人夫十名）を労働組合加入
 を理由に同日並に翌四月一日付懲戒解雇に附したのである。
 而して會社側は彈壓方針の下に全従業員に對し組合加入の有無
 を調査し、且つ組合に加入せざることを誓約書に調印せしめ
 たのであるが之れを拒んだ人夫十一名を更に解雇せり。越へて
 四月五日右檢束者一應釋放せらるるや従業員側では對策協議の
 結果組合支部を設置し之れを爭議團本部に當て全従業員の待遇
 改善並に被解雇者の手當要求を以て之れに對抗することとなつ
 た。
 かくて本工場に爭議發生するや九州統一労働組合同盟にありて
 は昨年の惨敗に對する回復手段を採るべく四月夕方職工の退門
 時刻に積極的應援の宣傳ビラを撒布したのであるが、會社側に
 於ては九統の介入を極度に嫌惡し爭議の一層悪化するを憂へ繼